

この街 あの人この人

エコラッピングで生活に豊かさを

包装作家 正林 恵理子さん (国分寺台)



カフェも営む自宅には素敵な作品がずらり

2月のバレンタインデー、3月のホワイトデー。今年は、プレゼントだけでなくラッピングにもこだわってみませんか？

身近なものがラッピングの素材

身近なものを使ったエコラッピングを実践する正林さんは、NHKの番組や雑誌でも取り上げられるほど人気の包装作家です。紙袋や封筒など普段何気なく使っているものが、正林さんの手にかかると、驚くほ

ど素敵な小物に変身します。

編集者の目に止まった差し入れの包み紙

正林さんは、菓子作りを学んだパリで、「お店でのさりげない包み方がすごく素敵だった」と感動したそうです。帰国後、パリでの出来事を思い出し、自作のお菓子のコストを減らすため、包装は自分で行うことにしました。

そんなある日、本を出版する先輩が打ち合わせの際、正林さんのお菓子を差し入れたところ、包装が編集者の目に止まり、なんとエコラッピングの本を出版することに。包装作家として活動を始めたのは、それからのことです。

発想の転換を楽しむ

「オクラの入っているネットだったり、キッチンペーパーの芯だったり、一度役割を終えたものがまた使えるところに楽しさを感じます」と話す正林さん。きれいなのにごみになってしまうものを活用するという発想の転換は、考え方も広がり喜びにつな



何気ない紙皿がおしゃれな作品に(動画で作り方を紹介)

がるそうです。そして、そのラッピングが再利用されるとさらにうれしくなるとのこと。

また、既製品を使えば簡単にできるものも、手作りにすることで、プレゼントと一緒に想いを伝えられ、ラッピング自体がプレゼントにもなります。

大切な人へのプレゼントに

あなたがプレゼントを送る相手は、きっとあなたの大切な人。ラッピングにも想いを乗せて、プレゼントを渡してみませんか？コツは「しっかりと折り目を付ける」こと。また、紙袋は形を変えやすく、初心者にも使いやすいそうです。

右のQRコードから、誰でもできる簡単なエコラッピング術や正林さんのインタビュー動画を見られます。



市民特派員

レポート vol.9



房総ジビエいのししサラミ

濱野 特派員



道の駅あずの里いちはらでは、市内産の農産物やジェラートなどを販売しています。

その中でも珍しいのが、「房総ジビエいのししサラミ」。イノシシの肉は味が濃く、特に冬の時期は脂が乗りおいしいそうです。プレーン・チョリソ・四川山椒と3種類あるので食べ比べも楽しめます。製造が難しいようで、入荷が間に合わず、品切れしてしまうことも。イノシシ年の今年、ぜひ試してみたいか



がでしょうか。

詳しくは特派員フェイスブックで
問合せ シティプロモーション推進課 ☎(23)9821

防災コーナー 79

避難行動要支援者制度の利用を

一人暮らしの高齢者や障がいがある人など、災害発生時に自力での避難が困難な人は、同制度を利用できます。

この制度は、支援を必要とする人が登録された名簿を、普段から地元町会などの支援関係者へ提供し、災害時の安否確認や避難支援などをご近所で助け合えるようにするものです。なお、名簿に登録するのは、地域へ情報提供することに同意いただいた人だけです。登録を希望する人は、問い合わせてください。



問合せ

高齢者や要介護認定者 = 高齢者支援課 ☎(23)9873
障がい者 = 障がい者支援課 ☎(23)9815
乳幼児などその他の人 = 危機管理課 ☎(23)9823

いちはら 歴史物語

119 いちはら文化財めぐり

美しい装飾品を持つ豪族の墓 江子田金環塚古墳出土土二括遺物

牛久市街を望む江子田古墳群

江子田古墳群は、牛久市街を望む東側台地上にあり、前方後円墳4基、円墳30基、方墳11基から成っています。

江子田金環塚古墳

その中で最も注目されるのが江子田金環塚古墳です。昭和38年度と昭和58年度に2回の発掘調査が行われました。調査の結果、古墳の形体は二重の溝で囲まれた前方後円墳で、長さは約45m、埋葬部は後円部の頂上よ

り1.5mの深さにあり、長さ約6.7

mの木製ひつぎの両端に粘土を張った木棺直葬といわれる埋葬方法であったことが分かりました。

古墳の名前となった金環の出土

出土品には、純金製のイヤリングである見事な金環2個、くつわなどの馬を操る金銅製の馬具46個、刀子(鉄製ナイフ)1口、鉄鉗(鉄製の金ばさみ)1個、

大刀1口、鉄製の矢尻36個、首飾りとみられる勾玉16個、そろばん玉に似た形をした玉18個、ガラス玉238個などがあります。これらの出土品から古墳の時期は6世紀前半と考えられ、



出土した装飾品(上中央2点が金環)

県指定文化財

この古墳の出土品は、保存状態が良好な上、全国的にも優れた考古資料で歴史的に貴重な資料であるため、県の指定文化財になっています。

問合せ ふるさと文化課 ☎(23)9853